

1. 10月全国行事

1) 全国労働衛生週間	10月1日～10月7日
2) 健康強調月間	10月1日～10月31日
3) 体力づくり強調月間	10月1日～10月31日
4) 薬と健康の週間	10月17日～10月23日
5) 高圧ガス保安活動促進週間	10月23日～10月29日
6) 全国産業安全衛生大会(名古屋)	10月28日～10月30日
7) 3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進月間	10月1日～10月31日

2. 安全・衛生・防災の心得 : 転倒災害防止10のカギ

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

4. 他社の事故・災害事例から : 袖口がドリルに巻きついてケガ

5. 今月のヒヤリハット

2. 安全・衛生・防災の心得 : 転倒災害防止10のカギ

今年は官民を挙げて「転倒災害 2015」のキャンペーンを実施中です。平成25年度に、業務上の転倒により4日以上仕事を休んだ人は2万5878人で、同年の死傷災害全体の22%となりました。これは平成20年と比較して、人数・割合ともに拡大しており、平成26年は前年比で4.3%も増加しています。この原因としては、転倒しやすい作業形態を含む第3次産業の増加や、働く人の高齢化などが指摘されていますが、どの職場にも共通な次のような転倒防止対策の徹底を図る必要があります。

- ①身の回りの整理・整頓・清掃の実施。
- ②床の水たまりや氷、油、粉類などの処理。
- ③段差や滑りやすい箇所に注意標識の設置。
- ④暗い階段や通路に十分な照明(照度)の確保。
- ⑤ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成して周知。
- ⑥定期的に通路、階段などの状況を点検・整備。
- ⑦足元が見えないような荷の持ち方をしない。
- ⑧ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いたりしない。
- ⑨作業靴は滑りにくいものを、手入れして履く。
- ⑩始業前体操は念入りに。ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れる、など。

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

①九州第二工場

特別管理産業廃棄物の廃アルカリ置き場を整備している。



②平塚第二工場

毒劇物倉庫前にGHS分類の絵が掲示されている。



4. 他社の事故・災害事例から : 袖口がドリルに巻きついてケガ

<災害のあらまし>

職場の工作室で、製造作業員(男性19歳、勤続1年)が、携帯用電気ドリルで鉄板(厚さ4mm)に穴あけ作業をしていたところ、作業衣の長袖のスロが、切削屑(キリコ)といっしょにドリルに巻きつき、手首ごと振りまわされて右手首を切創、捻挫したものです。

<災害の主な原因>

- ①長袖の作業服の袖のボタンが外れていたため、キリコが巻き付きやすかったこと。
- ②作業始めは袖まくりをしていたが、ドリル作業中にまくりが弛んだこと。
- ③袖にキリコが巻き付いたときパニックになり、ドリルの停止操作ができなかったこと。
- ④電気ドリル等による工作作業の教育や訓練を受けたことがなかったこと、など。

<同種災害の防止対策 例>

- ①作業服は、ボタン取れや破れなど、不都合なところがあったら、直ちに修繕等を行う。
- ②始業前ミーティング等の際、服装についての着状態をメンバー間で相互点検を行う。
- ③作業服装については、管理基準を定めて、みんなの服装がよい状態で揃うように管理する。
- ④特に現場工作室等での作業は、めいめいが勝手に行いがちなので、安全基準や作業手順を定めて徹底を図る。
- ⑤工具類を取り扱う若年者に対しては、その都度、現場・現物で教育を実施する、など。

5. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

「自信をもって 責任をもって 自分の作業は 自分で管理」

事例	エアー用ホースがエアーにより、穴が空いてはじけた。
どこで	塗装工場内で。
あらまし	塗装用のホースがエアーにより、パンという音とともににはじけました。ホース老朽化が原因と思われる。
原因	老朽化したエアー用ホースを使用したこと。
教訓・対策	ホースを使用する際は、劣化していないか注意すること。

6. その他

<省エネについて>

必要な場所では点灯を行い、不必要な場所は消灯を行うなど、無理のない省エネ活動を行って下さい。

「無限じゃないぞこの資源 一人一人がエコ活動」 H27年環境保全最優秀作品